

(第四部 第一〇類)

第八十四回 帝國議會 貴族院 昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案 特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

- 昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案
- 學校特別會計法案
- 厚生保險特別會計法案
- 農業家畜再保險特別會計法案
- 簡易生命保險及郵便年金特別會計法案
- 臺灣事業用品資金特別會計法案
- 作業會計法外十法律中改正法律案
- 國有財產整理資金特別會計法外三法律ノ廢止ニ關スル法律案
- 臨時資金調整法中改正法律案
- 戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案
- 煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案

委員氏名

- | | |
|------|----------|
| 委員長 | 男爵東郷 安君 |
| 副委員長 | 子爵梅園 篤彦君 |
| | 侯爵大隈 信常君 |
| | 侯爵淺野 長武君 |
| | 伯爵橋本 實斐君 |
| | 子爵今城 定政君 |
| | 子爵米田 國臣君 |
| | 大野 綾一郎君 |
| | 坂西 利八郎君 |
| | 男爵倉富 鈞君 |
| | 宮田 光雄君 |
| | 松村 義一君 |
| | 稻畑 勝太郎君 |
| | 千石 興太郎君 |
| | 佐々木 八十八君 |
| | 伊藤 傳七君 |

中島德太郎君
水野甚次郎君
大谷 五平君

昭和十九年一月二十九日(土曜日)午前十時十一分開會

○委員長(男爵東郷安君) 是ヨリ昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外十件ノ特別委員會ヲ開會致シマス、先ヅ政府側ヨリ全部ノ議案ニ付テ御説明ヲ御願ヒ致シマス

○政府委員(谷口恒二君) 本委員會ニ付託ニ相成リマシタ昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案外十件ニ付キマシテ提出ノ理由ヲ御説明致シマス、先ヅ昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案ニ付キマシテ御説明ヲ致シマス、昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲ノ公債發行デアリマスルガ、昭和十九年度歲入歳出總豫算案並ニ同追加案第一號及第二號ニ計上セル歳出總額二百一億七千三百餘萬圓ニ對シ、普通歳入百三十九億四千六百六十餘萬圓、及前年度剩餘金一億四千五百五十餘萬圓ヲ充當シテ尙不足スル六十億八千九百八十餘萬圓ハ公債財源ニ依ルノ必要ガアリマスル處、此ノ内現行ノ公債法ニ依リ調達シ得マスルモノ、震災善後公債分六十餘萬圓及道路公債分二千四百九十餘萬圓ガアリマスルカラ、之ヲ差引キ六十億六千四百三十萬圓ヲ限リ、新タニ起債ノ權能ヲ得ルノ必要ガアルノデアリマス、尙昭和十九年

度歲出豫算中若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サル、結果ニナルノデアラウト存ゼラレマスル處、其ノ繰越額ノ財源タル公債ハ必ズシモ之ヲ昭和十九年度内ニ於テ發行スル必要ハアリマセヌノデ、之ヲ其ノ翌年度ニ於テ發行シ得ルコトトスルノヲ適當ト認メ、所要ノ規定ヲ設ケムトスルモノデアリマス、次ニ昭和十五年法律第六十九號中改正デアリマスルガ、大東亞戰爭ニ關シ功勞アリタル陸海軍軍人軍屬ニシテ死歿シタル者ニ對シ、一時賜金トシテ公債ヲ交付スル爲、同法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ一億三千八百萬圓ダケ増加スルノ必要ガアリマスルコトト、從來ノ分ニシテ未ダ發行ノ運ビニ至リマセヌモノハ、之ヲ昭和十九年度ニ於テモ發行シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスルコトニ依リマシテ、此ノ昭和十五年法律第六十九號中ニ所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、第三ニ鐵道ノ買收代價トシテ交付スル爲ノ公債發行デアリマスルガ、内地ニ於ケル地方鐵道及朝鮮ニ於ケル私設鐵道中、輸送力ノ増強上特ニ必要ナルモノノ内、此ノ際國有トスルヲ適當ト認メラレマスル膽振縱貫鐵道株式會社外十三會社ノ經營ニ屬シマスル鐵道ヲ、昭和十九年度ニ於テ買收スルコトニ計畫致シマスル處、之ガ買收代價トシテ交付スル爲ノ公債ヲ發行スルノ必要ガアリマスルノデ、所要ノ規定ヲ設ケムトスルモノデアリマス、次ニ篠山鐵道株式會社所屬鐵道ノ營業廢止

ニ因ル損失ノ補償金トシテ交付スル爲ノ公債發行デアリマスルガ、國有鐵道篠山線ハ近ク開通ノ豫定デアリマシテ、之ニ接近並行スル篠山鐵道株式會社所屬鐵道ハ到底併立經營困難デアリマスノデ、其ノ營業ヲ廢止セシメ、其ノ營業廢止ニ因リテ生ズル損失ノ補償金トシテ交付スル爲ノ公債ヲ發行スルノ必要ガアリマスルノデ、所要ノ規定ヲ設ケムトスルモノデアリマス、次ニ朝鮮事業公債法中改正デアリマスルガ、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費タル鐵道建設及改良費、道線修築改良費、港灣修築改良費等ノ追加額其ノ他五億九千三百十餘萬圓ニ付キマシテハ、公債財源ニ依ルコトト致シマスル處、既定額ノ内昭和十八年度ニ於テ公債財源ニ依ル豫定ノモノニシテ、決算上不用トナスベキモノ等ガ千二百八十餘萬圓アリマスルノデ、之ヲ差引キ五億八千一百十萬圓ダケ、同法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要ガアリマスルノデ、所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、次ニ昭和十八年法律第九十三號中改正デアリマスルガ、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル米穀ノ生産確保補給金、大麥、稗麥及小麥ノ生産確保補給金、石炭及化學肥料ノ價格調整補給金並ニ企業整備ニ要スル經費二億七百四十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計歲計ノ現狀ニ鑑ミマシテ公債財源ニ依ルノ必要ガアリマスルノデ、同法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ二億七

業公債法中改正デ臺灣總督府特別會計ニ於ケル基隆港及高雄港ノ擴張工事費千八百六十餘萬圓、竝ニ臺灣重要物資營團及臺灣石炭統制株式會社ニ對スル公債ノ交付ニ依ル出資七百萬圓ノ合計額二千五百六十餘萬圓ニ付キマシテハ、公債ヲ發行スルノ必要ガアリマスル處、既定額ノ内、節減等ニ依リ不用トナスベキモノガ千八十餘萬圓アリマスルノデ、之ヲ差引キ千四百九十萬圓ダケ同法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ增加スル等、所要ノ改正ヲ行ハムトスルモデアリマス、次ニ昭和十八年法律第九十四號中改正デアリマスガ、臺灣總督府特別會計ニ於ケル米穀ノ生産確保補給金及企業整備ニ要スル經費四千六百二十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計歲計ノ現狀ニ鑑ミマシテ、公債財源ニ依ルノ必要ガアリマスルノデ、同法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ四千六百三十萬圓ダケ増加スル等、所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、次ニ學校特別會計法案、厚生保險特別會計法案、農業家畜再保險特別會計法案、簡易生命保險及郵便年金特別會計法案、臺灣事業用品資金特別會計法案、作業會計法外十法律中改正法律案及國有財産整理資金特別會計法外三法律ノ廢止ニ關スル法律案ニ付テ御説明致シマス、是等ノ法律案ハ何レモ豫算單純化ノ趣旨ニ則リ、特別會計ノ整理統合ヲ行ヒマシテ、會計ニ關スル事務ノ簡捷及會計制度ノ簡明ヲ圖リマス共ニ、特別會計ノ運営ヲ一層時局ノ要請ニ即應セシメムトスルモノデアリマス、先ヅ學校特別會計法案ニ付テ御説明致シマス、現在學校ニ關スル會計ノ經理ニ付キマシテハ、帝國大學及官立大學竝ニ學校及圖書館ノ三特別會計ヲ設

ケテ經理致シテ居ルノデアリマスガ、會計經理ニ關スル事務ノ簡捷ヲ圖リ、一層學校ニ關スル會計ノ運営ヲ圓滑ナラシメマスル爲、是等ノ三特別會計ヲ統合致シマシテ、一ツノ學校特別會計ヲ設置致シマスルト共ニ、現在學校及圖書館特別會計ノ所屬ト相成ッテ居リマス帝國圖書館ニ關スル歲入歳出ハ、之ヲ一般會計ノ所屬ニ移スノ適當ト認メタノデアリマス、之ガ爲ニハ、大學特別會計法竝ニ學校及圖書館特別會計法ヲ廢止致シマシテ、新タニ學校特別會計法ヲ制定スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ厚生保險特別會計法案ニ付テ御説明致シマス、現在政府ニ於キマシテ管掌スル健康保險事業、勞働者年金保險事業及船員保險事業ノ經營ニ付キマシテハ、健康保險、勞働者年金保險、船員保險ノ各特別會計ヲ設ケテ經理ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、會計ニ關スル事務ノ簡捷ヲ圖リ、各事業ノ經營ヲ一層圓滑ナラシムル爲、是等ノ三特別會計ヲ統合シテ一ツノ特別會計ヲ設置致シマシテ、健康勘定、年金勘定、船員勘定及業務勘定ニ區分經理スルノガ適當ト認メラレタルデアリマス、又別途提出致シテ居リマス勞働者年金保險法中改正法律案ニ依リマシテ、勞働者年金保險ノ被保險者ノ範圍ヲ擴張シテ、之ヲ厚生年金保險ト爲スニ伴ヒマシテ、勞働者年金保險特別會計ニ付、所要ノ措置ヲ講ズルノ必要ガアリマス、是等ノ爲ニハ現行ノ健康保險特別會計法、勞働者年金保險特別會計法及船員保險特別會計法ヲ廢止致シマシテ、新タニ厚生保險特別會計法ヲ制定スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、次

ニ農業家畜再保險特別會計法案ニ付テ御説明致シマス、現在農業保險法ニ依ル農業再保險事業及家畜保險法ニ依ル家畜再保險事業ノ經營ニ付キマシテハ、ソレノ農業再保險及家畜再保險ノ兩特別會計ヲ設ケテ經理致シテ居ルノデアリマスルガ、今回會計ニ關スル事務ノ簡捷ヲ圖リ、又兩事業ノ經營ヲ一層圓滑ナラシムル爲、是等兩特別會計ヲ統合シ、一ツノ特別會計ヲ設置致シマシテ、農業勘定、家畜勘定及業務勘定ニ區分經理スルノガ適當ト認メタノデアリマス、之ガ爲ニハ現行ノ農業再保險特別會計法及家畜再保險特別會計法ヲ廢止致シ、新タニ農業家畜再保險特別會計法ヲ制定スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出シタ次第デアリマス、次ニ簡易生命保險及郵便年金特別會計法案ニ付テ御説明致シマス、現在簡易生命保險事業及郵便年金事業ノ經營ニ付キマシテハ、簡易生命保險及郵便年金ノ兩特別會計ヲ設ケテ經理致シマスルト共ニ、兩事業ニ關スル經費ノ經理上ノ便宜ヲ考慮致シマシテ、昭和十八年法律第十七號ニ依リ、遞信局及郵便局ニ於テ取扱ヒマスル簡易生命保險及郵便年金ノ事務ニ關スル經費等ハ、之ヲ通信事業特別會計ノ所屬ト致シマシテ、之ニ要スル經費ノ財源ニ充ツル爲必要ナル金額ヲ通信事業特別會計ニ繰入ルコトヲ致シ、又兩事業ノ進展ニ伴フ會計上ノ措置ヲ致シマシテ、昭和十六年法律第二十八號ヲ制定シ、臺灣總督府、關東局及南洋廳ノ各特別會計トノ間ニ、會計上ノ調整ヲ行ヒマシテ、兩事業ノ圓滑ナル經營ヲ圖ッテ參タノデアリマス、然ルニ今回更ニ會計ニ關スル事務ノ簡捷ヲ圖リマス爲ニ、簡易生命保險及郵便年金ノ兩特別會

計ヲ統合致シマシテ、一ツノ特別會計ト致シマスル共ニ、通信事業特別會計ノ所屬ト致シマスル經費等ノ範圍ヲ更ニ擴張スルヲ適當ト認メタノデアリマス、其ノ爲ニハ現行ノ簡易生命保險特別會計法、郵便年金特別會計法、昭和十六年法律第二十八號及昭和十八年法律第十七號ヲ廢止シマシテ、新タニ簡易生命保險及郵便年金特別會計法ヲ制定スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、次ニ臺灣事業用品資金特別會計法案ニ付テ御説明致シマス、現在臺灣總督府ニ於テ經營致シマスル鐵道及自動車交通事業ノ用品ノ調達ニ付キマシテハ、臺灣官設鐵道用品資金特別會計ヲ設置致シマシテ、是等ノ事業用品ヲ適宜ノ時期ニ購入シ、之ヲ貯藏製作等致シマシテ、隨時適切ニ是等ノ事業ノ需用ニ應ジ、事業ノ圓滑ナル遂行ニ寄與致シテ參タノデアリマス、然ルニ戰時下臺灣ノ現狀ニ顧ミマシテ、鐵道及自動車交通事業ノミナラズ、廣ク通信、專賣、營繕、土木等ノ事業ノ用品ニ付キマシテモ、其ノ用品ヲ豫メ購入貯藏等致シマシテ、是等ノ事業ノ迅速且圓滑ナル遂行ヲ圖ルコトガ緊要ト認メラレタルデアリマス、然ルニ之ガ爲ニハ現行ノ臺灣官設鐵道用品資金會計法ヲ廢止シ、新タニ臺灣事業用品資金特別會計法ヲ制定スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ作業會計法外十法律中改正法律案ニ付テ御説明致シマス、先ヅ作業會計法中改正デアリマスルガ、各作業所ノ事業量ハ近時著シク増大致シテ參リマシタ關係上、各作業所ノ据置運轉資本額竝ニ專賣局及印刷局ニ於ケル据置運轉資本一時補足ノ限度額ヲ以デシマ

シテハ、時ニ各作業所ノ作業ニ支障ヲ來ス
虞レアル狀況ニ顧ミマシテ、專賣局及印刷
局以外ノ作業所ニ付キマシテモ、据置運轉
資本一時補足ノ途ヲ開クト共ニ、据置運轉
資本一時補足ノ限度額ヲ増額スルヲ適當ト
認メマシテ、之ニ關スル規定ヲ設ケムトス
ルモノデアリマス、次ニ造幣局特別會計法
中改正デアリマス、近時時局ノ要請ニ基キ
補助貨ノ回收ガ強化サレルニ伴ヒマシテ、
造幣局資金ニ不足ヲ來ス場合モ豫想セラル
ル狀況ト相成リマシタノデ、造幣局資金ヲ
臨時補足シ得ルノ途ヲ開キ置クヲ適當ト認
メマシテ所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノ
デアリマス、次ニ食糧管理特別會計法中改
正デアリマス、先ヅ米麥ノ買入價格引
上等ニ依リ、食糧證券ノ發行限度額ヲ七億
圓ダケ増額スルノ必要ガアリ、次ニ本會計
ニ於テ、朝鮮又ハ臺灣ノ外ニ在ル軍ノ用ニ
供スル爲、朝鮮又ハ臺灣ヨリ買入レマシタ
ル米穀ノ價格中ニ含マレテ居リマシタル米
生確確保補給金及麥類ノ價格調整ノ爲、本
會計ノ負擔ト相成リマシタル金額ニ相當ス
金額ヲ限度トシテ、一般會計ヨリ繰入金ヲ
爲スコトト致シマス、一般會計ヨリ繰入金
要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、次
ニ薪炭需給調節特別會計法中改正デアリマ
ス、薪炭ノ價格調整ノ爲、本會計ノ負
擔致シマス、金額ニ相當スル金額ヲ限度ト
シテ一般會計ヨリ繰入金ヲ爲スコトト致シ
マス、適當ト認メ、所要ノ改正ヲ行ハ
ムトスルモノデアリマス、次ニ燃料局特別
會計法中改正デアリマス、軍需省燃料
局ニ於キマシテ、時局ノ要請ニ基キマシテ
「グリセリン」等ノ製造ヲ行フコトト致シマ
シタルニ伴ヒ、是等ノ歳入歳出ハ燃料局特

別會計ノ所屬トシテ經理スルヲ適當ト認メ、
所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、
次ニ通信事業特別會計法中改正デアリマス
ルガ、現在通信事業特別會計ニ於キマシテ
ハ、通信事業特別會計法第四條ノ規定ニ依
リ、毎年度八千二百萬圓以内ニ於テ豫算ニ
定ムル金額ヲ一般會計ニ納付スルコト相
成ツテ居ルノデアリマス、時勢ノ變遷
等ニ伴ヒマシテ、此ノ納付金制度ヲ廢止シ、
同會計ノ運營ヲ一層圓滑ナラシムルヲ適當
ト認メ、所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデ
アリマス、次ニ臺灣米穀移出管理特別會計
法中改正デアリマス、今回臺灣ニ於テ、
現在ノ臺灣米穀移出管理令及臺灣米穀等應
急措置令ヲ廢止シ、新テ臺灣食糧管理令ヲ
制定致シマシタニ伴ヒマシテ、現行ノ臺灣米
穀移出管理特別會計法ノ名稱ヲ變更致シマ
スル等ノ必要ガ生ジマシタル爲、所要ノ改
正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、次ニ臨
時軍事費特別會計法中改正及昭和十七年法
律第六號中改正デアリマス、時局ニ顧
ミマシテ、戰地外ニ於キマシテモ空襲、震
災等ニ依リ災害ノ生ジマシタル場合、其ノ
他特別ノ事情ニ基キ必要アル場合ニ於キマ
シテハ、軍ニ於テ保有スル物資ヲ拂下ゲマシ
テ應急ノ措置ヲ講ズルコトモ必要ト存ゼラ
レマス、現行ノ臨時軍事費特別會計
法第四條ノ改正ヲ行フノ必要ガアリ、又現
在戰地及輸送ノ實情上、戰地ニ於テ必要ナ
ル軍需品以外ノ物資ヲ軍方内地等ニ於テ取
得シ、之ヲ戰地ニ輸送シテ賣拂フ爲スコト
モ必要デアアルノデアリマス、此ノ場合
ニ於ケル物資ノ取得及賣拂ニ關スル歳入歳
出ハ、戰地ニ在ル軍需品以外ノ物資ノ取得及
賣拂ニ關スルモノト同様ニ、當分ノ内臨時軍

事費特別會計ノ所屬ト爲スノヲ適當ト存ゼ
ラレマス、昭和十七年法律第六號附
則第二項ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリ
マス、次ニ昭和十二年法律第十號中改正デ
アリマス、大藏省預金部特別會計ニ於
キマシテハ、昭和十二年度以降毎年度一般
會計歳出ノ財源ニ充ツル爲、六百萬圓ノ繰
入ヲ行ツテ參ツタノデアリマス、近時郵便
貯金ノ増加等ニ依リ、同會計ノ積立金及剩餘
金ハ相當巨額ニ達シ居ル狀況ナルニ顧ミマ
シテ、右繰入金ヲ増加スルノヲ適當ト認メ
所要ノ改正ヲ行ハムトスルモノデアリマス、
次ニ昭和十三年法律第二十三號中改正デア
リマス、今回朝鮮總督府、臺灣總督府
及關東局ニ於キマシテモ、内地ト同様ノ趣
旨ニ依リ、鐵道運賃及通信料金ノ引上ヲ行
フコトト致シタノデアリマス、之ニ因ル
增收額ノ一部ハ臨時軍事費ノ財源ニ充ツル
ヲ適當ト認メ、所要ノ改正ヲ行ハムトスル
モノデアリマス、ソレカラ海軍火藥廠及海
軍燃料廠ノ据置運轉資本ノ臨時補足ニ關ス
ル規定デアリマス、海軍火藥廠及海軍
燃料廠ノ作業量ハ、近時著シク増大シテ
參リマシタル關係上、現行ノ海軍火藥廠ノ
据置運轉資本額四百萬圓、及ビ海軍燃料廠
ノ据置運轉資本額六百萬圓ヲ以テシマシテ
ハ、作業ノ圓滑ナル遂行ヲ圖ルコト困難ト
存ゼラレマス、大東亞戰爭中ノ臨時
措置ト致シマシテ、兩作業所ノ据置運轉資
本ニ不足ヲ生ジマシタル場合ニ於キマシテ
ハ、臨時軍事費特別會計ヨリ臨時之ヲ補足
シ得ルノ途ヲ開カムトスルモノデアリマス、
國有財産整理資金特別會計法外三法律ノ廢
止ニ關スル法律案ニ付テ御説明致シマス、
近時時局ノ要請ニ依リマシテ特別會計増加

ノ趨勢ナルニ顧ミマシテ、既存ノ特別會計
中其ノ存置ノ理由比較的低シキモノニ付キ
マシテハ、此ノ際能ク限リ之ヲ整理致シマ
シテ、會計制度ヲ簡明ナラシムルコトガ必
要ト存ゼラレマス、デアリマス、此ノ趣旨
ニ依リマシテ、時局ノ進展ニ伴ヒ存置ノ理
由比較的低弱ト相成リマシタル國有財産整
理資金特別會計、又軍需省ノ設置ニ伴ヒ存
置ノ理由之シク相成リマシタル陸軍航空工
廠資金特別會計及ビ蠶絲業統制ノ強化ニ
伴ヒ殆ド其ノ機能ヲ失フニ至リマシタル絲價
安定施設特別會計ヲ、昭和十八年度限り廢
止スルコトト致シマシタル處、之ガ爲ニハ是
等ノ特別會計ノ廢止ニ關シ必要ナル措置ヲ
講ズルノ必要ガアリマス、本法律案
ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、次ニ
臨時資金調整法中改正法律案ニ付キマシテ
御説明致シタイト存ジマス、改正ノ第一點
ハ、政府ハ土地其ノ他ノ物ノ賣却代金、補
償金其ノ他ノ金錢債務ニ付、支拂ハレマシ
タル當該金錢ノ處分ニ關シ必要ナル命令ヲ
爲シ、又ハ當該金錢債務ニ付、企業整備資金
措置法第五條ニ規定スル所謂特殊決濟方法
若シクハ其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ決濟スベ
キコトヲ命ズルコトヲ得ルコトト致シマス
ト共ニ、政府ノ此ノ種債務ニ付キマシテモ、
企業整備資金措置法第三條ノ規定ニ準ジマ
シテ、特殊決濟ヲ爲スコトヲ得ルコトトシタ
コトデアリマス、資産ノ處分代金、各種補償
金等、所謂新タナル生産行為ニ基カザル移
動資金ノ浮動化防止ニ關スル措置ト致シマ
シテハ、既ニ政府ハ現行第十條ノ二ニ於キマ
シテ、土地其ノ他ノモノヲ收用セラレ若シク
ハ賣却シタル者、又ハ其ノ利害關係人ニ對
シマシテ其ノ代價トシテ受クル金錢ノ處分ニ

關シ、國債ノ購入等必要ナル命令ヲ爲シ得ルコトヲナシ居ルノデアリマス、尤モ之ニ關シマシテハ、政府ハ成ルベク直接ニ命令スルノ方法ニ依ラズ、勸奨ノ方法ニ依リマシテ其ノ目的ヲ達スル方針ヲ執シ居ルノデアリマシテ、移動資金ノ浮動化防止上相當ナル效果ヲ收メテ參シ居ルノデアリマス、又昨年戰力増強企業整備ガ實施致サレマスルヤ、政府ハ企業整備資金措置法ヲ制定シ企業整備ニ伴フ移動資金ノ浮動化防止ニ付萬全ノ措置ヲ圖ツタノデアリマス、更ニ時局ノ進展ニ顧ミ、一層此ノ種資金ニ對スル措置ヲ整備擴充スルノ要アリト認メマシテ、現行第十條ノ二ノ對象タル金錢債務ノ範圍ヲ、資産ノ處分代金、收用ノ補償金ノミナラズ、其ノ他ノ補償金、退職給與金、其ノ他一時的收入ノ性質ヲ有スル給付金ニシテ新ナル生産行為ノ對價ヲラザル金錢債務ニ擴張スルト共ニ、從來代償トシテ受クル金錢トシテ現金化セラレタモノニ對シテノミ、國債ノ購入保有等ヲ命令シ得ルコトト、ナツテ居リマシタノヲ、金錢債務ノ決済ニ付キ、債權者債務者双方ニ對シ、其ノ決済前ニ必要ナル命令ヲ爲シ得ルコトト致シ、其ノ内容トシテ、企業整備資金措置法ニ依ル所謂特殊決済又ハ國債ニ依ル交付等ヲ命ジ得ルコトト致シタノデアリマス、尙之ニ伴ヒ政府ノ金錢債務ニシテ之ト同種ノモノニ付キマシテモ、企業整備資金措置法第三條ノ規定ニ準ジ特殊決済ヲ爲シ得ルコトト致シタノデアリマス、次ニ改正ノ第二點ハ、預貯金、金錢信託、生命保險、其ノ他一定ノ長期貯蓄ノ貯蓄者ハ、災害疾病其ノ他ノ事由ニ因リ資金ヲ必要トスルトキハ、當該貯蓄ノ全部又ハ一部ニ付キマシテ、

期限前ニ於ケル拂戻ヲ請求シ又ハ當該貯蓄ニ關スル契約ヲ解除シ若シハ變更スルコトヲ得ルコトト致シマシテ、此ノ場合貯蓄取扱機關ガ、貯蓄者ニ拂戻シ又ハ給付スベキ金額、利息其ノ他ノ條件ハ、貯蓄者ニ期限前拂戻請求等ノ爲、特ニ不利益ヲ與ヘザルヤウ、命令ヲ以テ定ムルコトトシ、之ニ因リマシテ貯蓄取扱機關ニ損失ヲ生ジマシタル場合ハ、政府ハ之ヲ補償シ又ハ補助金ヲ交付スルコトヲ得ルコトトシタコトデアリマス、國民貯蓄ノ増強ヲ圖リ資金ノ浮動化ヲ防止スル爲ニハ、益々長期貯蓄ヲ獎勵スルノ要アルハ多言ヲ要セザル所デアリマスガ、長期ノ預貯金、定期積金、信託、保險等ニ付キマシテハ、只今ノ狀況ニ於キマシテハ、不時ノ入用ニ際シ之ヲ資金化シマス爲ニハ相當困難デアリ、又資金化シマシタ場合ニモ、利息等ニ於テ相當不利益ヲ蒙リマスノデ、此ノ事ハ長期貯蓄ヲ躊躇シタリ忌避シタリスル原因ト相成ルノデアリマス、仍テ貯蓄者ガ災害疾病等、豫期セザル事由ニ因ツテ資金ヲ必要トスル場合ニ、貯蓄者ニ特ニ不利益ヲ與フルガ如キコトナク之ヲ資金化シ得ルノ方途ヲ開キマスレバ、安シクテ長期貯蓄ヲ爲シ得ルノ態勢ヲ整ヘルコトトナルノデアリマス、此ノ理由ニ依リマシテ改正ノ第二點ヲ置イタノデアリマス、改正ノ第三點ハ、數人ノ者ガ……是ハ多數ノ者ヲ含ム意味デアリマスガ、是等ガ銀行其ノ他ニ對シテ代表者ヲ定メ、其ノ者ノ名ニ於テ貯蓄ヲ爲ス場合ニ於キマシテハ、代表者ノ外、各貯蓄者モ命令ヲ定ムル所ニ依ツテ、當該貯蓄取扱機關ニ對シテ其ノ貯蓄ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得ルコトトシ、各貯蓄者毎ノ利子又ハ利益ノ計算方法、代表者ニ對

スル取締其ノ他ノ必要ナ事項ハ命令ヲ以テ規定シ得ルコトトシタコトデアリマス、現在代表者ノ名義ヲ以テスル貯蓄ハ法律關係ガ不明確デアリマシテ、貯蓄者ノ保護、貯蓄者ノ貯蓄心理ノ尊重等ニ十分ナラザル點ヲ存スル狀況ニ在ルノデアリマス、仍テ今回代表者名義ニ依ル貯蓄ノ一方法トシテ、各貯蓄者ガ貯蓄取扱機關ニ對シテ直接拂戻ヲ請求シ得ルガ如キ制度ヲ設ケマスルト共ニ、代表者ノ拂戻請求權ニ一定ノ制限ヲ加ヘ其ノ他代表者名義ニ依ル貯蓄ノ一難點タル各貯蓄者毎ノ利子利益ノ計算方法ヲ簡素化シ、又代表者ニ對スル取締規定ヲ設ケル等、必要ナル規定ヲ整備シテ、貯蓄者ヲシテ安心シテ代表者名義ノ貯蓄方法ニ依ラシムルコトヲ得ル如ク致サウト考ヘテ居ルノデアリマス、尙今後ニ於ケル貯蓄事務ハ年ト共ニ愈々増量ヲ豫想セラル、所デアリマシテ、是等ノ事務ハ出來得ル限り簡素化スルノ要ガアルノデアリマスガ、右ニ述ベマシタルガ如キ貯蓄ノ方法ハ、此ノ情勢ニ適應シテ此ノ問題解決ニ貢獻スル所ガ尠クナイト考ヘラレノデアリマス、改正ノ第四點ハ、政府ハ國債證券ノ低價買入等、國民ノ貯蓄實踐ヲ阻害スルノ虞アル行為ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得ルコトトシタコトデアリマス、國民ノ貯蓄實踐ノ高度化ニ伴ヒ、他面之ヲ阻害スル虞アル行為、例ヘバ國債債券等ノ低價買入、獻納運動等ノ行為等ガ間接發生シマシテ、國債債券ノ直接消化等ニ惡影響ヲ與ヘテ居ルヤウナ狀況モアルノデアリマス、之ガ取締ニ付キマシテハ、現行法ニテハ不十分デアリマシテ、茲ニ規定ヲ設ケルコトト致シタノデアリマス、改正ノ第五點ハ、貯蓄債券、報國債券ノ發行

限度ヲ、兩債券ヲ通ジテ收入金五十億圓ト致シマスルト共ニ、之ニ關聯シテ貯蓄債券報國債券ニ關スル規定ノ條文ヲ整理スルコトトシタコトデアリマス、御承知ノ通り、政府ハ日本勸業銀行發行ニ係ル貯蓄債券及報國債券ヲ國債證券ト合セテ廣ク國民ニ直接消化ヲ圖ツテ居ルノデアリマス、其ノ發行限度ハ、現在貯蓄債券二十億圓、報國債券十五億圓トナツテ居リ發行狀況ニ顧ミ之ガ増額ヲ爲スノ必要ガアルノデアリマス、從來貯蓄債券、報國債券ハソレゾレ別箇ニ發行限度ガ規定シテアルノデアリマスガ、國債及是等兩債券ノ直接消化ノ現況ニ顧ミマスルニ、兩債券ノ發行限度ハ之ヲ合併規定シ、其ノ間ニ融通性ヲ保タシメルコトガ適當ト認メラレノデアリマス、尙之デ、兩者ヲ通ジテ發行限度ヲ十五億圓引上げ、五十億圓ト致シタノデアリマス、尙之ニ關聯シテ往ノ經驗ニ鑑ミ、貯蓄債券ニ付抽籤並ニ償還ノ方法ヲ簡素化スルト共ニ、貯蓄、報國兩債券ノ割増金ノ交付ノ方法ニ付キ改正スルコトト致シタノデアリマス、更ニ改正ノ第六點ハ、課稅上ノ特例ニ關スル規定ヲ擴張スルコトトシタコトデアリマス、臨時資金調整法ノ規定ニ基ク貯蓄又ハ貯蓄ヲ爲ス者ニ對シテ、當該貯蓄ノ利子又ハ利益ニ關シ租稅ノ減免ヲ爲シ、又本法ニ基キ發行セラレマスル一定證券ニ對シ印紙稅ヲ課セザルコトトスル規定ハ從來存シタノデアリマスガ、此ノ際ニ等ニ對スル印紙稅ノ非課稅ノ範圍ヲ擴張シ、又一定ノ場合ニ於ケル有價證券移轉稅ノ非課稅規定ヲ新設致シマスルト共ニ、本法ニ基ク特定ノ貯蓄ノ利子又ハ利益ニ對シマシテハ、法人稅法ニ依ル所得ノ計算ニ關スル特例ヲ設ケル

コレヲ得ルコトト致シタノデアリマス、改正ノ第七點デアリマスルガ、是ハ第十條ノ五第一項ニ規定スル割増金ヲ附シタル證券、貯蓄債券又ハ報國債券ノ發行者ハ戰時災害、又ハ戰時中ノ災害ニ因リ喪失シタル是等ノ證券ニ對シマシテ、別途提案致シマシタル戰時喪失無記名國債證券臨時措置法ニ準ジテ新證券ヲ交付、其ノ他ノ措置ヲ爲スベキコトトシ、此ノ場合ニ於キマシテ發行者ニ損失ヲ生ジタル場合ハ、政府ハ補償スルコトトシタコトデアリマス、先程申上ゲマシタル通り、貯蓄債券、報國債券ハ國債證券ト同ジク、國民ノ間ニ直接普及消化サレテ居リマスルノデ、戰時災害ニ因リ喪失セル無記名國債證券ニ右申シマシタル喪失無記名國債證券臨時措置法ニ於ケルガ如キ戰時下ニ於ケル特例ヲ認ムルモノト致シマスレバ、貯蓄債券、報國債券ニモ當然同様ノ措置ヲ必要トスルモノト考ヘル次第デアリマス、次ニ只今申シマシタル戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案ニ付キマシテ御説明致シマス、支那事變以來國民ノ熱誠ニ依リマシテ多額ノ國債消化セラレマシテ、國債所有者ハ國民全般ニ亙リテ居ルデアリマスルガ、無記名國債證券ガ喪失致シマシタル場合、現在ノ取扱ト致シマシテハ、一定ノ條件ノ下ニ元利金ノ支拂ノミヲ爲シ得ルコトニナツテ居リ、又喪失證券ノ名稱記號等ガ不明ナ場合ニ於キマシテハ何等救済ノ途ガナイノデアリマス、國債所有者ヲ保護シ、國債ノ消化ニ資セシムルガ爲ニハ現在ノ制度ハ足リナイノデアリマシテ、喪失致シマシタル證券ニ對シ、新證券ヲ交付スル等ノ措置ヲ講ズルノ必要ガアルヲミナラズ、證券ノ名稱、記號等ガ不明ナ場合ニ於キマシ

テモ、之ヲ救済スル途ヲ開クノ必要ガアルノデアリマス、本法律案ハ右ノ趣旨ニ依リマシテ、戰時ニ於テ災害ニ因リ喪失シマシタル無記名國債證券ヲ災害ノ當時所有シ、又ハ占有致シテ居リマシタル者ハ、戰時喪失國債證券審査會ニ其ノ證券ノ喪失ニ付テ査定ヲ求ムルコトヲ得ルコトトシ、此ノ査定ガアリマシタル場合、政府ハ新證券ヲ交付シ、又ハ之ニ代ヘ元利金ノ支拂、國債ノ登錄、若シクハ預金ノ設定ヲ爲スコトヲ得ルコトトシタコトデアリマス、又右ニ伴ヒマシテ必要ニ應ジ此ノ特別ノ措置ニ依リテ生ズルコトアルベキ損失ヲ補填スル爲、確實ナル擔保ヲ提供シ、又ハ保證人ヲ立テシムルコトトシ、又實際ニ政府ノ損失ヲ生ジマシタル場合ニハ、新證券ノ交付等ノ措置ヲ受ケタ者ハ、其ノ損失ヲ負擔スルコトヲ要スルコトトセムトスルモノデアリマス、尙以上ノ如キ特別ノ措置ハ、戰時災害以外ノ戰時中ノ非常ノ災害ニ因リマシタル喪失シマシタル無記名證券ニモ準用スルコトトスルヲ適當ト認メ、必要ナル規定ヲ置イタルデアリマス、次ニ煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案ニ付テマシテ御説明ヲ致シマス、先ヅ煙草專賣法中改正ノ部分ニ付テ御説明ヲ致シマス、大東亞共榮圈內ニ於ケル煙草用卷紙ニ付キマシテ從來ノ需給ノ狀況ヲ見マスルニ、本邦ヲ除ク圈內各域ニハ其ノ生産ハ極メテ少ク、需要ノ大部分ハ本邦製品ヲ以テ之ヲ充足スルノ外ナキ狀態デアリマス、然ルニ本邦ニ於ケル煙草用卷紙ノ生産狀況ハ、最近一般製紙業界ノ生産事情ノ激變ニ伴ヒマシテ、之ガ所要量ノ生産確保ハ相當困難ガアルノデアリマシテ、之ヲ現狀ノ儘ニ支

障ヲ來ス虞アル次第デアリマス、斯カル狀況ニ顧ミマシテ、煙草用卷紙ニ付キマシテ之ガ生産ノ確保ヲ圖ルト共ニ、本邦並ニ圈內各域ニ對スル配給ノ適正圓滑ヲ期スルガ爲、煙草用卷紙ニ付キマシテ專賣制度ヲ實施セムトスルモノデアリマス、今煙草用卷紙專賣ノ内容ニ付其ノ概略ヲ御説明致シマスレバ、先ヅ煙草用卷紙ノ製造ニ付キマシテハ、特ニ政府直營工場ヲ設ケタルコトナク、現在ノ民間製造業者ニ其ノ製造ヲ許可シ、其ノ有スル設備、技術及多年ノ經驗ヲ高度ニ活用致シタイ考デアリマス、斯クシテ生産セラレマシタル煙草用卷紙ニ付キマシテハ、相當ナル賠償金ヲ交付シタル上、政府ニ於テ總テ之ヲ收納スルコトトシ、其ノ製品ハ本邦ノ所要ニ充テマス外ハ、總テ共榮圈內各域ニ對シマシテ、各地ノ煙草製造數量ニ應ジテ圓滑適正ナル供給ヲ圖ルヤウニ致シタイノデアリマス、從テ其ノ輸出又ハ移出ニ當リマシテハ之ヲ政府自ラ行フカ、又ハ政府ノ命ヲ受ケタル者ヲシテ行ハシムル方針デアリマス、尙本專賣ハ煙草トノ不可分の關係ヲ考慮シ、現行煙草專賣法ノ改正ニ依リ實施セムトスルモノデアリマス、尙此ノ際併セテ煙草耕作等ニ關スル許可事項ノ簡素化ヲ圖リマス共ニ、煙草耕作者ニ對スル罹災補償制度ヲ擴充シ、補償スベキ災害ノ種類ヲ増加シ、且收穫後ノ災害ニ對シテモ補償ヲ爲シ得ルガ如ク煙草專賣法中所要ノ改正ヲ行ハムトスル次第デアリマス、次ニ鹽專賣法中改正ノ部分ニ付御説明致シマス、時局ノ緊迫ニ即應シテ航空戰力ノ飛躍的増強ヲ圖ルコトハ刻下ノ急務デアリマスルガ、航空機材ノ重要資源タル金屬「マグネシウム」航空機燃料ニ缺クベカ

ラザル「プロム」爆藥ノ原料タル加里等ハ、鹽製造ノ際同時ニ生産セラレマスル苦汁ノ中ニ相當多量ニ包含セラレテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り苦汁ハ所謂鹹水カラ鹽ヲ採取シマシタル殘液デアリマシテ、鹽ノ生産ト苦汁ノ生産トハ密接不可分ノ關係ニアリマスルノデ、鹽ノ產地ニ配置セラレテ居リマスル鹽專賣機構並ニ技術ヲ苦汁生産ニ付キマシテモ全面的ニ動員シ、鹽ト一體的關係ニ於テ苦汁ノ増産並ニ之ガ確保ヲ圖ルト共ニ、其ノ適正圓滑ナル供給ヲ爲スガ爲、苦汁ノ專賣ヲ實施スルコトトシ、鹽專賣法中所要ノ改正ヲ行ハムトスル次第デアリマス、苦汁專賣ノ概略ヲ御説明申上ゲマスルト、先ヅ苦汁ノ製造及ビ其ノ廢止ヲ許可制トシテ其ノ生産ヲ確保致シマスル共ニ、生産セラレマシタル苦汁ハ總テ政府ニ於テ收納スルコトトシ、必要ナル箇所ニハ苦汁貯藏槽ヲ新設スル等ニ依リ、之ガ貯藏管理ノ完備ヲ期セムトスル次第デアリマス、而シテ苦汁ノ賣渡ニ付キマシテハ特別ノ機關ヲ設ケタルコトナク、需要者又ハ其ノ團體ニ對シ政府ヨリ直接定價ヲ以テ供給セムトスルモノデアリマス、尙今回專賣ト對シマスルノハ所謂天然苦汁デアリマシテ、人工苦汁ニ付キマシテハ其ノ生産ノ實情ニ鑑ミ專賣品ト爲サザル方針デアアルノデアリマス、以上苦汁ノ專賣ニ付御説明致シマシタガ、右ノ外今回ノ鹽專賣法改正ニ當リマシテハ自家用鹽ノ製造ニ關スル制限ヲ緩和スル等ノ爲、所要ノ改正ヲ併セテ行ハムトスル次第デアリマス、以上十一件ノ法律案ニ付キマシテ何卒御審議ノ上御賛成アラムコトヲ御願ヒ致ス次第デアリマス

○委員長(男爵東鄉安君) チョット速記ヲ

止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(男爵東郷安君) 速記開始、本日若シ大體ノ御質問ガゴザイマスナラバ、若干時間ガゴザイマスカラ、ドウゾ御質疑ヲ願ヒマス

○伯爵橋本實斐君 段々戦局ノ進展ト共ニ臨時軍事費ガ累加シテ参リマス、其ノ財源ト致シマシテ公債ガ段々多クナツテ参リマス、公債發行ト國力ノ關係ニ付キマシテハ、從來國民トシテ種々關心ヲ持ツテ居ル次第デアルノデアリマスルガ、今や國債ガ非常ニ巨額ニ達シテ参リマシテ、旁々租稅等モ累加シテ参リマシテ、國民ノ生活ニ加ヘラレル負擔ハ増加スルノデアリマスルガ、一面國民ハ能ク此ノ苦痛ニ耐ヘマシテ、必勝ノ態勢ニ邁進シツ、アル次第デアリマス、一方國民ノ貯蓄獎勵、又其ノ獎勵ニ伴ヒマシテ國民モ能ク進ンデ貯蓄ニ應ジテ居ル次第デゴザイマス、國債ノ發行限度ト國力ト云フコト、國民經濟ノ力ト云フコトハ不可分ニ考ヘラレテ居リマスノデ、衆議院ノ豫算總會等ニ於キマシテモ、若シクハ赤字公債ノ法律案委員會ニ於キマシテモ、國力、換言シマスレバ國民貯蓄、又國民ノ生産力ト申シマスルカ、ソレガ大部分問題ニナツテ居ルヤウデゴザイマス、國債ノ發行ノ裏付トナリマスル國民貯蓄ノ推定高、國民貯蓄ト申シマスルカ、生産高ト申シマスルカ、ソレヲ大藏大臣ハ確カ八百億トカ七百億トカ御答辯ニナツタヤウニ空ニ記憶致シテ居リマスルガ、左様ニ了解シテ宜シウゴザイマセウカ、若シ此ノ際財政當局カラ之ニ關シマシテ御話ヲ伺ヘマスレバ仕合セニ存ジマス

○政府委員(谷口恒二君)

只今臨時軍事費増加ノ趨勢ニ鑑ミマシテ、租稅、國債ノ發行等ニ付キマシテ御話ガ出マシタノデアリマスルガ、衆議院ニ於キマシテモ色々其ノ事ハ各種ノ會合デ御質問モアリマシテ、政府トシテモ御答ヲ致シタノデアリマス、只今仰セニナリマシタ點ニ付キマシテハ、衆議院ニ於キマシテ御答ヘ致シマシタノハ、昭和十九年度ノ國民所得ノ大體ヲ六百億ト抑ヘルト云フコトヲ御答ヘ致シタ筈デアルノデアリマス、昭和十七年度ニ於キマシテハ四百五十億、昭和十八年度ニ於キマシテハ約五百億ト云フコトヲ御説明シテ參ッテ居ルノデアリマス、昭和十九年度ニ於キマシテハ各種生産ノ増強、或モノニ付キマシテハ飛躍的増強ヲ計畫シテ居リマスヤウナ關係モゴザイマシテ、國民所得ノ大體ノ額ハ六百億デアルト云フコトヲ御説明申上ゲタノデアリマス、其ノ内容ニ付キマシテモ色々ノ區分ハ大體ハ御説明申上ゲタコトニナツテ居ルノデアリマシテ、來年度ハ政府ノ財政資金中、公債ニ仰グベキモノ、竝ニ生産擴充資金ノ豫定額等ヲ合算致シマスレバ、約三百五十億程度ノ國民貯蓄ノ増強ヲ目標トスル必要ガアルノデアリマス、是ハ御承知ノ通り昭和十八年度ニ於キマシテハ二百七十億ノ目標ヲ掲ゲマシテ、目下其ノ達成ニ努力致シテ居ルノデアリマスガ、ソレニ相當スル數字ハ大體ニ於テ三百五十億程度ニ相成ル見込デアルノデアリマス、先程モ仰セノ通り事變以來巨額ノ戰費ヲ支辨シテ参リマシテ、今回先日御協賛ヲ仰ギマシタ臨時軍事費ノ追加三百八十億ヲ合計致シマスレバ、千百二十億ニ達スル巨額ノ戰費ヲ支辨シテ參ッタノデアリマス、此ノ戰費ノ

支辨ニ付キマシテハ、只今仰セニアリマシタ如ク、全ク國民ノ努力ニ俟ツ所ガ多イノ

デアリマス、今後戰費ノ益々増加シ、又國民貯蓄ノ増強ニ努ムベキ額ノ増加スルニ伴ヒマシテ 國民ノ協力ヲ仰グベキ點ガ非常ニ多イト考ヘルノデアリマス、昭和十八年度ノ貯蓄目標ノ達成ニ付キマシテハ、必死ノ努力ヲ以テ目下尙目標ノ達成ニ努メテ居ルノデアリマス 只今申シマシタヤウナ狀況デアリマシテ、昭和十九年度ニ於キマシテハ、一層巨額ノ國民貯蓄ノ増強ニ努力致サナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、一層國民ノ協力ト云フ點ニ付キマシテハ之ヲ特ム程度ガ段々強クナツテ來ルヤウナ次第デアルノデアリマス

○伯爵橋本實斐君

此ノ際若シ伺フコトガ出來マスレバ、此ノ點モ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス、所謂戰時工業ニ伴ヒマシテ新興階級、新タニ興ル階級ト云フコトヲ俗ニ申シテ居リマス、新タニ重工業等ニ從事スル爲ニ、從來ヨリモ非常ニ收入ヲ増加シテ居ル階級ト云フコトガ新聞等ニモ俗ニ申サレテ居リマス、是等ノ新興階級ノ所得トナリマスヤウナ所得額ノ大體ノ推定ハ如何ナモノデゴザイマセウカ

○政府委員(谷口恒二君)

只今御話ノ所謂新興所得階級、別ニ門戶ヲ張ル譯デモナク、邸宅ガ立派ナ譯デモナイ方面ニ於キマシテ、所得ノ増シタ方ガ非常ニ多イト云フコトハ我々モ認メテ居ルノデアリマシテ、今回増稅ヲ計畫スル際ニ於キマシテモ、其ノ方面ノ所得カラ租稅ノ收入ヲ求メルト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、色々若干ノ措置ヲ講ジタノデアリマスルガ、是ハ全體ヲ捕捉スルト云フコトガナカノ困難デアリマシ

テ、ソレハ從來銀行、例ヘバ金融機關ノ店

舗ニ致シマシテモ、預貯金ノ集リマスルノガ、從來繁華デアッタト思ハレル所ヨリモ、却テ從來ハ金融機關トシテ割合輕ク見テ居リマシタヤウナ所謂場末ノ所ニ於テ吸收ガ盛シニ行ハレルト云フヤウナ點デ、新興所得階級ナルモノガ其ノ邊ヲ目指スベキモノデアルト云フコトハ分ルノデアリマスルガ、此ノ所謂新興所得ノ階級ノ手ニ落チタモノガドノ位ノモノデアルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ當局ト致シマシテ極ク大難把ナコトヲ見當ラ立デル、腰ダメヲ立テルヤウナコトハ致シテハ居リマスガ、ソレヲ捕捉致シマシテ纏メマシテ、大體是々ト云フコトヲ申上ゲマスル迄ニハ至ツテ居ラナイノデアリマシテ、纏メテ御答ヘ致シマスルコトハ、公ノ席デ申上ゲマスルヤウナ資料トシテハ未ダ整ッテ居ラナイ、斯様ナ狀況デアリマス

○稻畑勝太郎君

チヨット伺ヒタイノデスガ、六百億ノ國民ノ所得ガアルト云フ政府ノ御調査デアリマスガ、其ノ内容ハドウ云フコトニナツテ居リマスルカ、若シ御差支ガナケレバ伺ヒタイト思ヒマス、尙又國民ニ公債ヲ所有サスト云フノニ至リマシテモ、只今質問ニナリマシタ如ク、新興所得者ニ相當課稅或ハ公債ヲ負擔サスト云フコトガ必要デアラウト思フノハ、從來ノ戰時以外ノ商工業者ト云フモノハ殆ド今日ハ失業シテ居ル、從ツテ從來ノ所得ニ依ツテ生活シテ居ルト云フ者モ段々生活ハ窮迫シテ來ル譯デス、縮マツテ來ルト云フノデアリマシテ、斯ウ云フ時局以前ノ中産階級ニ此ノ以上ノ公債其ノ他ノ負擔ヲ請求スルト云フコトモ隨分困難デアラウト思ヒマス、然レバソレ

等ノ、政府ガ時局ノ爲ニバラ撒カレタ金ヲ
回收スルト云フコトニハ、戰時ニ關係シテ
居ル工業、或ハ其ノ工業ニ屬シテ居ル階級
或ハ勞働者ニ負擔サス方法ヲ講ジテ、撒イ
タモノヲ又國家ガ之ヲ回收スルト云フ方法
ハ、無論御採リニナツテ居ラウト思ヒマス
ガ、其ノ點ニ付テ此ノ六百億ノ國民ノ所得
ノ内容ガ分リマスレバ、凡ソ見當モ附カウ
ト思ヒマス、凡ソ國民ノドウ云フ階級ニ此
ノ六百億ト云フモノヲ割當テテゴザルカ、
同ヒタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 御答ヘ致シマス
ガ、國民所得六百億ト云フコトニ大體ノ見
當ヲ立テテ居ルノデアリマシテ、此ノ算定
ノ方法ニ付キマシテハ、物的ノ所得ト、ソ
レカラ用役ノ勤勞所得、振替所得及海外事
業及勞務利益等ヨリ成テ居ルト云フ大體
ノ見方ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ
只今ノ所デ、其ノ中デ如何ナル部分ガ何億
デアル、如何ナル部分ガ何億デアルト云フ
コトノ詳細ナル算定ハ、只今マダ致シテ居
ラナイノデアリマシテ、極ク大體ノ見當ヲ
六百億ト云フコトニ致シタノデアリマス、
物的ノ所得ト云フモノガ矢張り一番重キヲ
爲スノデアリマスルガ、是ハ物資ノ生産、
輸送、配給等ニ伴フテ生ズル所得ト云フノ
デアリマシテ、此ノ物的ノ所得ト云フモノ
ガ國民所得ノ大部分ヲ占メテ居ル譯デアリ
マシテ、内容トシマシテハ、農林、水産、
工鑛業等直接ノ生産カラ生ズル所得ノ外運
輸、通信、物資ノ配給、斯ウ云フヤウナモ
ノノ所得モ含シテ居ルノデアリマシテ、是
ハ各種ノ生産統計等カラ算出致シマシテ、
結論ノ細カイ數字ガ出來上ルノデアリマス
ガ、只今六百億ト致シマシテ、極ク大體ノ

見當ヲ立テテ居ル程度デアリマス、御話ノ
如ク新興ノ所得階級ノ收入ト云フモノ、租
稅ノ點カラモ公債ノ直接消化ノ點カラモ、
十分考慮ニ入レルベキコトハ全ク御同感デ
アリマシテ、此ノ公債ノ割當等ニ付キマシ
テモ、極ク元ノ平和ノ時代ノヤウナ標準デ
以テ割當ヲ致シマスルニ止メテ居リマス場
合ニ於キマシテハ、意想外ノ不均衡ト云フ
モノガハ生ジテ來ルノデアリマス、矢張
リ實際此ノ時局デ産業方面デ實際ノ收入ノ
増シタ方面、之ニ眼ヲ著ケナケレバナラス
ト云フコトハ全ク其ノ通りデアリマシテ、
我々ト致シマシテモ此ノ所謂職域ノ消化、
特ニ非常ニ多忙デアアル産業方面ノ工場等
於テ其ノ消化ヲ圖リ、國民貯蓄ノ増強ヲ圖
ルト云フ點ニ付キマシテハ、大イニ力ヲ入
レテ居ルノデアリマシテ、其ノ産業方面ノ
理事者等ニ對シマシテモ極力協力ヲ仰ギマ
シテ、又我々ノ方カラモ直接其ノ方面ニ出
テ參リマシテ、貯蓄ノ増強ニ努メテ居ルノ
デアリマシテ、生産増強ノ統計等カラ物的
ノ所得ノ方面デ、大體下ノ事業ニサウ云フ
勞銀ノ所得ガ多イト云フヤウナ見當ガ出來
上リマシタ場合ニハ、勿論ソレモ參考ト致
シマシテ御話ノアリマシタ所得ノ新タニ殖
エテ居ルト云フ階級ニ對シテ、此ノ國民貯
蓄ノ増強ノ方面ニ一層強度ニ負擔シテ戴ク
ト云フコトニ付キマシテハ、今後共一層努
力ヲ致ス考デ居リマス

○子爵梅園篤彦君 チョット御伺ヒ致シマ
スガ、十八年度ノ國民貯蓄ノ目標ハ二百七
十億ト云フコトニナツテ居リマスルガ、現在
迄ノ其ノ實績ハドンナ風ニナツテ居リマス
カ、完全ニ二百七十億ヲ本年度内ニ貯蓄セ
シメルコトヲ得マスルカドウカ、其ノ點ヲ

先ヅ伺ヒタイト思ヒマス、而シテ十九年度
ハ國民所得ヲ六百億ト御推定ニナリマシ
テ、サウシテ之ニ對シテ國民貯蓄ヲ三百
五十億ヲ目標トセラレタヤウデアリマスガ、
サウ致シマスルト十九年度ハ八十億ノ増額
ト云フコトニナリマスガ、八十億ノ増額ト
云フコトハナカク大キナモノダト思ヒマ
スガ、是亦只今ノ御推定デハ確實ニ消化シ
得ルト云フ風ニ御考ニナツテ居リマスガ、此
ノ點モ併セテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、尙
モウ一ツハ稅務官吏ノ増員ヲバ十八年度ニ
於テモオヤリニナツタヤウデアリマスガ、本
年度モ亦其ノ御意向ノヤウデアリマスガ、
此ノ稅務官吏ノ増員ノ成績、サウ云ツタ方
面ノコトニ付テ御差支ナイ程度デ結構デア
リマスカラ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒二君) 國民貯蓄ノ増強
ノ狀況ニ付テ御質問ニ對シテ御答ヘ致シ
マスルガ、十八年度ノ二百七十億、是ハ貯
蓄ノ目標トシテ當初カラ掲ゲテ參タノデ
アリマスルガ、年度ノ途中ニ於キマシテ、
米ノ代金ノ上リマシタコト、其ノ他、地方
農村ニ流出シマシタ政府ノ資金等ノ關係カ
ラ致シマシテ、其ノ二百七十億ノ外ニ特別
ノ貯蓄計畫ヲ更ニ附加ヘテ盛ツテ居ルノデ
アリマシテ、我々ト致シマシテハ二百七十
億ハ勿論、更ニソレヨリモ以上ノモノヲ是
非共達成シナケレバナラスト、斯様ニ考ヘ
テ居ルノデアリマス、其ノ最近迄ノ狀況ニ
付キマシテハ、氏家國民貯蓄局長ガ參テ居
リマスノデ、直接申上ゲルコトニ致シタイ
ト思ヒマスガ、昭和十九年度ニ至リマシテ
ハ、更ニ貯蓄ノ目標額ヲ一段ト高ク掲ゲル
コトニ相成ルノデアリマス、是ハ勿論、直接
消化ノ方面モ一層國民各位ノ御協力ヲ仰ガ

ナケレバナリマセヌガ、其ノ部分ダケデハ
ナイノデアリマシテ、其ノ他ノ部分モ合シ
テ、國民貯蓄ノ増強額ガ三百五十億ニ上ル
譯デアリマスノデ、我々ト致シマシテハ是
非共來年度ノ此ノ目標額ハ達成シナケレバ
ナラスト、堅イ決心ヲ懷イテ居ルヤウナ次
第デアリマス、尙稅務官吏ノ増員ノコトニ
付テ御尋ネガゴザイマシタノデアリマス
ルガ、昭和十八年度ニ於テモ増員致シマシ
タガ、今回ノ増稅ニ伴ヒマシテ、昭和十九
年度ニ於キマシテモ稅務官吏ノ増員ト云
フコトヲ御願ヒ致シタイト考ヘテ居ルノデ
アリマス、此ノ狀況ニ付キマシテハ、最近
ニ於キマシテハ稅務官吏ノ手不足ノ爲ニ色
色調査ノ届カナイ點ガ出テ參ツテ居ルノデア
リマシテ、稅務行政ノ複雑化ニ付キマシテ
ハ、御承知ノ通り課稅ノ方面ニ於テ複雑ヲ
加ヘテ居リマスルト同時ニ、色々戰時ニ於
ケル臨時措置トシテ免稅、非課稅等ノ、申
サバ消極的ノ行政方面ニモ非常ニ手ガ要ル
ノデアリマシテ、ソレガ爲ニ十八年度ニ増
員ヲ戴キマシタケレドモ、稅務行政ノ方ハ
ナカク一屆キマセヌ、人手ガ足りマセヌト
云フト、調査不十分ニシテ御迷惑ヲ掛ケル
ヤウナコトモ多々アルノデアリマス、今回
ハ増稅ノ法律案ノ中ニ稅務行政ノ簡素化ト
云フコトヲ一ツノ大キナ狙ヒト致シマシテ、
各種ノ規定ヲ設ケテ居ルノデアリマスルガ、
ソレニ致シマシテモ、現在ノ人員ヲ以テシ
マシテハ到底完全ニ十分ニ調査ヲ遂ゲ、公
正、的確ナル課稅ヲ致スト云フコトハ困難
デアリマス、更ニ増員ヲ要求致シテ居ルヤ
ウナ次第デゴザイマスルガ、若シ是ガ戴ク
コトガ出來マスナラバ、直接稅ノ方面モサ
ウデアリマスガ、間接稅ニ付キマシテモ、

物品稅、遊興飲食稅等ニ付テ行ハレテ居リマスル所ノ徵稅上ノ色々ノ御注意ノ點、議會ニ於テモ始終承ルノデアリマスガ、サウ云フ御注意ノ點ニモ人員ヲ分ケルコトガ出來マシテ、從來ヨリハ一層適正ナコトガヤッテ行ケルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○政府委員(氏家武君) 昭和十八年度ノ國民貯蓄ノ増加實績ニ付テ御尋ガアリマシタガ、今日迄判明致シテ居リマスノハ上半期分デアリマシテ、下半期ノ中ノ第三四半期ノ實績ハ、實ハモウ數日デ大體纏マル積リデアリマス、上半期ノ方ハ既ニ御承知ノヤウニ、百三十七億五千四百萬圓ト云フ數字ヲ發表致シテ居ルノデアリマス、前半年ダケデ二百七十億ノ半以上ヲ達成シタノデアリマスルカラ、之ヲ昭和十七年度ニ較ベマスルト、大體順調ナ成績デアルト云フコトガ申上ゲ得ルト思フノデアリマス、尙此ノ數字ハ、其ノ後實績ガ判明シタノモアリマシテ、多少ソレヨリ増加致シテ居ルト見テ居リマス、第三四半期ハ、只今申上ゲマシタヤウニ、ハッキリシタコトハコ、數日ヲ待タナケレバ申上ゲルコトガ出來ナイノデアリマスルガ、大體大雜把ヲ所デ八十億位ハ出來テ居ルト思フテ居リマス、或ハソレヨリ多少多クナルカモ知レナイト思フノデアリマス、左様ニ致シマスと云フト、上半期ガ百三十七億餘リ、ソレニ第三四半期ガ、假ニ八十億ト云フコトニ致シマスと云フト、ソコデ二百十七億ト云フヤウナモノガ出テ參ルノデアリマス、第四四半期ハ、昭和十七年度ノ第四四半期ト假ニ同額出來ル、斯ウ云フ風ニ致シマスと云フト、昨年度ニ於キマシテハ五十五億圓出來タノデアリマス

カラ、二百七十億ト云フ目標ハ達成ガ間違ヒナイヤウニ大體考ヘテ居ルノデアリマス、但シ只今次官カラモ申上ゲマシタヤウニ、實ハ昭和十八年度ニ於テハ二百七十億ノ目標達成ダケデハ十分デナイノデ、米價引上等ニ伴フ農家收入ノ増加、或ハ企業整備ニ伴フ放出サレマシタ資金ノ中ノ一部分、是等ハ目標外ニ置イテ、是非共捕捉シタイト云フ考デ居リマスノデ、勿論目標以上ニ相當超過スルコトヲ目途ト致シマシテ、目下頻リニ努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、モウ各府縣ニ割當テマシテ目標額ナドヲ見マシテモ、既ニ十二月迄ニソレムノ割當額ヲ、一年分ノ割當額ヲ突破シタト云フヤウナ報告ノ出テ居リマス府縣モ十縣以上アルヤウナ次第デアリマシテ、只今迄ノ所ハ、先ヅ大體順調ナ經過ヲ辿ッテ居ルト云フコトガ申シ得ルト思フノデアリマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明デ、十八年度ノ國民貯蓄二百七十億ノ目標達成ハ確實デアリ、確信ガアルト云フ御答辯ヲ得マシテ大イニ安心致シマシタ、ドウカ特ニ御努力ヲ御願ヒシ、是非共達成ヲシテ戴キタイト思ヒマス、就キマシテハ十九年度ハ三百五十億ト云フコトニナリマシテ、更ニ十八年度ニ比較シマシテ八十億圓ノ増額トナリマスカラ、ナカ／＼困難デアラウカト思ヒマス、仍テ此ノ三百五十億貯蓄完成ニ對シマシテ、何カ新規ナ方法ヲ御採リニナル御考ハナイノデアリマセウカ、富籤問題トカ、色々ナコトモ噂ニハ聞イテ居リマスルガ、何カ新シイ方法ハ十九年度ノ國民貯蓄目標達成ノ爲ニ御採リニナル御意思ハナイノデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(谷口恒二君) 十九年度ニ於キマスル國民貯蓄ノ増強ノ方策ニ付キマシテハ、色々各方面カラ御智慧ヲ拜借致シテ國民貯蓄獎勵委員會ト云フモノガゴザイマスルガ、ソコデ色々又御意見モ伺ヒマシテ、具體的ノ方策ヲ立テテ參リタイト思フノデアリマスルガ、此ノ貯蓄ノ増強ニ備ヘマシテ、先程御説明致シマシタ臨時資金調整法中改正案ヲ提出致シテ居ルノデアリマス、其ノ中ニゴザイマスルヤウニ、色々長期ノ預貯金等ヲ致シテ居ラレマス方ニモ不安ノナイヤウニ致シマシタリ、又代表者ヲ立テテ貯蓄ヲ致シマスル、謂ハバ合同貯蓄ト申スベキヤウナ制度ヲ設ケマシタリ、色々サウ云フコトヲ臨時資金調整法中改正法律案ニ盛り込シテ居ルノデアリマスルガ、又貯蓄組合ノ増強等モ致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ之ヲ大體致シマスレバ、非常ニ變ツタ奇策ト云フヤウナコトハ考ヘテハ居リマセヌノデアリマシテ、大體ト致シマシテハ從來ノ方法ノ輪郭ノ中デ一層ノ努力ヲ致ス考デアルノデアリマス、斯ウ云フ相當巨額ノ貯蓄ヲ致シ、國民貯蓄ノ増強ヲ計畫スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ他ノ經濟上ノ問題ニ付キマシテモ同様デゴザイマスルガ、餘リ奇抜ナ方法ニ依ッテヤリ遂ゲルト云フコトハナカ／＼ムジカシイノデアリマシテ、矢張り常道ヲ辿リマシテ、不撓不屈ノ努力デ手堅クヤッテ行クヨリ外ニヤリ方ハナイト云フコトヲ大體ノ考ヘ方ト致シテ居ルノデアリマス、併シ細部ノコトニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、貯蓄關係ノ法律ニ改正ヲ加ヘマシテ、從來ノ大體ノ輪郭ノ中デ制度ノ網ノ目ヲ細カクシ、又足リナカッタ點ヲ補ヒマシテ、一層貯蓄ノ増強ニ遺憾ノナイヤウニ致シタ

イト考ヘテ居ル次第デアリマス
○委員長(男爵東郷安君) 別ニ御發言ハゴザイマセヌカ
○稻畑勝太郎君 此ノ歳出ノ豫算ト云フモノハ、目下物價ガ騰貴シテ居リマスルガ、例ヘバ十七年度ヨリ十八年度ノ方ガ物價ガ高クナッテ居ル、十九年度ニナレバ増稅ヲ消費稅ガ殖エタダケデモ、煙草トカ其ノ他ノモノモ高クナル、シテ見ルト、自然品物ガ少クナッテ居ル爲ニ物價ガ上リツ、アル、サウシテ物價ノ騰貴ト云フモノハ、矢張り歳出ノ豫算ニ於テモ、騰貴ハ勘定ニ入レテ其ノ歳出豫算ノ財源ガ出來テ居ルモノト思フノデアリマスガ、其ノ物價ハ十八年度ヨリ見レバ十九年度ハドノ位、政府カラ見ラレタ所デハ上ツテ居リマスカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス、十八年度カラ十九年度ニ掛ケテ比較シテ見ルトドノ位物價ガ上ツテ居ルカ、其ノ物價ノ騰貴ト云フモノハ歳出ニ見込シテゴザルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデス

○政府委員(谷口恒二君) 御尤モデアリマシテ、政府ノ歳出ノ中ニモ、物價ノ關係ハ、矢張り最近ノ狀況ヲ織込シテ、所謂勘定ニ入レテ豫算ヲ組ンデ居ルノデアリマス、ソレヲ更ニ申上ゲマスと、御承知ノ通りニ歳出ノ豫算中ニハ、人ノ給料デゴザイマスとか手當ト云フヤウナ人ニ關スルモノト、ソレカラ物ニ關スルモノト、二通りアラク分ケマシテゴザイマス譯デアリマス、人ニ關スルモノニ付キマシテハ、是ハ制度上俸給額其ノ他ガ決ッテ居リマスノデ、ソレノ改正ガナケレバ、從來ト同ジモノヲ政府ノ役人ノ人數ダケニ割當テテ組ンデ參ル譯デアリマス、物ノ方ノ關係デアリマスルガ、

物ノ方ノ關係ニ付キマシテ只今御話ノヤウナ問題ガ表面ニ現レテ參ルノデアリマス、物ノ方ニ付キマシテモ、一々個々ノ物品ヲ購入致シマス場合モゴザイマスルガ、又土木營繕ト云フヤウナモノガ經費ト致シマシテハ非常ニ大キイ譯デアリマス、役所デ墨ヲ買ヒマス、紙ヲ買ヒマストカ、具體的ニ物ヲ買フ場合モゴザイマスルガ、ソレ等ノ經費ヨリモ土木トカ營繕トカ云フ方ガ、矢張り場合ニ依リマシテハ數億ニモ達シマシテ、經費トシテハ多イノデアリマス、役所ノ中デ色々日用品ヲ買ヒマスヤウナモノニ付キマシテハ、是ハ經費ノ組ミ方ガ、紙墨幾ラ、炭團ガ幾ラト云フヤウナコトニ細々ト其處迄ハ參ッテ居リマセヌノデアリマシテ、ソレ等ノ經費ニ付キマシテハ、是ハ毎年大體ニ於テ決ッタ事務費ガアリマシテ、此ノ事務費ノ中デ調辨ヲ付ケテ參リマスノデ、特ニ物價ノ關係ヲ顯著ニ現スヤウナ場面ハナイノデアリマス、土木營繕ノ方面ニ付キマシテハ、ドウシテモ只今御話ニナリマシタヤウナコトヲ考慮ニ入レナケレバナラス、ドウシテモサウ云フ關係ガ出來テ來ルノデアリマス、只今私ハ手許ニ、例ヘバ鐵筋「コンクリート」ノ家ヲ建テマスノニ、坪當リ、十八年度ニハ何百圓ト見タガ、十九年度ハ之ヲ何百圓ト見テ居ルト云フヤウナ材料ハ持ッテ居リマセヌガ、サウ云フヤウナ坪當リ單價ト云フモノニ付キマシテハ、十九年度ニハ十九年度ニ適當ト思ハレルヤウナ多少ノ物價關係ヲ考慮ニ入レマシテ、新シイ豫算ノ實行シテ行ケルヤウナ單價ニ組ンデ居ルノデアリマス、併シナガラ御承知ノ通り此ノ土木營繕等ニ付キマシテモ、十九年度ニ新タニ計畫

ヲ起シマシタ土木營繕ト、ソレカラ兩三年前カラ繼續的ニ所謂繼續費トシテヤッテ來テ居リマスル土木營繕トガアルノデアリマシテ、從來カラ繼續費デヤッテ來テ居リマスモノニ付キマシテハ、二三年前、遠キハ四五年モ七年前ノ其ノ當時ノ單價デ組ンダノデアリマスガ、ソレヲ一々訂正致シテ參リマスコトハ、豫算ノ技術上煩ニ堪ヘマセヌノデ、ソレ等ノ部分ニ付キマシテハ從來ノ當初ソレヲ組ンダ時ノ單價デ其ノ儘參ッテ居リマス、併シ十九年度カラ新タニ始めマスル土木營繕等ニ付キマシテハ、矢張り十八年度ニ比シマシテ、色々事情ヲ考慮シマシテ若干引上ヲ致スト云フ措置ハ執ッテ參ッテ居ルノデアリマス、要シマスルニ只今御話ノ要點ト致シマシテ、サウ云フ點ガ所謂勘定ニ入レテアルカドウカト云フ點デアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ考慮ニ入レマシテ歲出ヲ組ンデ居ルト、斯様ナ次第デゴザイマス

○委員長(男爵東郷安君) 別段御發言ゴザイマセヌカラ、本日ハ此ノ程度ニ致シテ置キタイト思ヒマス、本日ハ之ヲ以テ散會致シマス

午前十一時四十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵東郷 安君
副委員長 子爵梅園 篤彦君
委員 侯爵大隈 信常君
侯爵淺野 長武君
伯爵橋本 實斐君
伯爵今城 定政君
子爵米田 國臣君

政府委員

臺灣總督府財務局長

高橋

大藏次官

谷口

大藏省國民貯蓄局長

氏家

大藏省理財局長

田中

大藏書記官

窪谷

同

松崎

專賣局長官

濱田

專賣局理事

幸雄君

同

濱田

文部書記官

深澤

家治君

柴沼

直君

男爵倉富

鈞君

稻畑勝太郎君

千石興太郎君

佐々木八十八君

伊藤 傳七君

中島德太郎君

大谷 五平君

大野綠一郎君

坂西利八郎君

昭和十九年一月二十九日印刷

昭和十九年一月三十日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局